

第2回 新技術発表会 2017 in福島

注目のNETIS登録技術を紹介

発表対象は、いずれもNETIS(新技術情報提供システム)に登録された新技術・新工法です。メーカーなどの担当者が、概要や特長などを紹介します。

日時 2017.11/8 水
13:00~16:35 (受付12:00~)

会場 福島県建設センター 2階会議室
(福島県福島市五月町4-25) **定員 120人**

一 建設新技術発表会プログラム

- 13:00** クラック抑制ラバファルト塗膜工法
~13:25 / ラバファルト株式会社
- 13:25** 土留部材引抜同時充填工法
~13:50 / 協同組合Masters 土留部材引抜同時充填工法研究会
- 13:50** 先行床施工式フロア型システム吊足場(クイックデッキ)
~14:15 / 日綜産業株式会社
- 14:15** 休憩(10分)
~14:25
- 14:25** 真空吸引圧送浚渫工法
~14:50 / 株式会社早水組
- 14:50** RBPウォール工法
~15:15 / 太洋基礎工業株式会社
- 15:15** 休憩(10分)
~15:25
- 15:25** 移動式ネットワークカメラ「モニタリングミックス」
~15:50 / 株式会社アシストユウ
- 15:50** 透明型枠ミエールフォーム
~16:15 / 株式会社高洋商会
- 16:15** 意見交換&お知らせ
~16:35

主催 (株)福島建設工業新聞社
後援 (一社)福島県建設産業団体連合会ほか

継続教育 CPDS
■土木施工管理技士会(4ユニット)

参加費 無料(受講票は発行しません)

※満席のときのみ事務局よりご連絡いたします。
特に連絡がない場合は受講可能となりますので、
直接会場にお越しください。

申込方法 ① FAX.024-535-4925
② E-mail hensyu@fk-news.co.jp
(裏面①~⑦の事項をご送付ください)

申込期限 2017年11月2日(木)
(定員になり次第、締め切らせていただきます)

アクセス



問い合わせ先

福島建設工業新聞社「新技術発表会」係担当/遠藤

福島建設工業新聞社 TEL.024-534-7456

1

クラック抑制ラバファルト塗膜工法

ラバファルト株式会社

中規模の舗装破損部分を打ち換えなしの補修で延命効果を発揮する事ができる技術。溶融したラバファルトを補修箇所塗布し、直接加熱合材で舗装する。舗装のクラック抑制・剥離防止・止水を目的に開発したファイラー入り特殊アスファルトである。

2

土留部材引抜同時充填工法

協同組合Masters 地盤環境事業部会 土留部材引抜同時充填工法研究会

新しい発想で仮設撤去による地盤変位を高度に抑える技術。従来は、仮設撤去による地盤変位が強く懸念される為、地中残置などで対応していた。本技術の活用により、仮設撤去回収が安全にでき事業損失防止にも繋がる。

3

先行床施工式フロア型システム吊足場(クイックデッキ)

日綜産業株式会社

従来型のパイプ式吊足場をシステム化する事により①熟練工でなくても容易に吊足場が構築可能②高強度材の使用により最大吊りチェーンピッチ5m、跳ね出し床最大5mを実現③最大100㎡程度の4点ユニット吊りにより工期と高所作業の削減を実現。

4

真空吸引|圧送浚渫工法

株式会社早水組

特殊吸引機の使用により水底(海洋、河川、湖沼等)の底質を高含泥にて浚渫圧送が可能となし、処分地の余水処理施設及び処分地面積を小さくでき、トータルコストの低減が可能な経済的工法である。また、特殊吸引アタッチメントの使用により浚渫区域での水質の濁りが少ない。

5

RBPウォール工法

太洋基礎工業株式会社

複数の大型プレキャストコンクリートパネルと特殊アスファルト系ポリマーで保護されたPC鋼棒を使用して一体的に連結し、縦方向に緊張することにより切土法面の安定化を図る技術である。

6

移動式ネットワークカメラ「モニタリングミックス」

株式会社アシストユウ

工事・技術者不要で簡単に移動も出来る360°操作可能なネットワークカメラ。電源を入れて3分で遠隔地のリアルタイムの動画をインターネットで配信、電源のない場所でもソーラーやバッテリーで対応可能。更に画像解析(AI)も搭載できる次世代型ネットワークカメラシステム。

7

透明型枠ミエールフォーム

株式会社高洋商会

型枠の堰板に、部分的に透明アクリル樹脂を使用する事により型枠の外側から、配設した鉄筋の状態やコンクリート打設時の充填不良等が確認出来る。また中側の型枠の建て込み作業において透明の堰板から日光が取り込まれ安全な作業現場が確保される。

11月8日(水)

新技術発表会
受講申込書

FAX番号: 024-535-4925

右記、記入の上上記FAX番号までご送付ください。

※満席のときのみ事務局よりご連絡いたします。
特に連絡がない場合は受講可能となりますので、
直接会場にお越しください。

①団体名

②所属

③氏名

※複数の場合は参加される方
全員をご記入ください

④住所

〒

⑤電話番号

⑥FAX番号

⑦E-mail